



2024年10月1日

あいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンス**モニタリングレポート開示について**

株式会社愛知銀行（頭取 伊藤 行記）は、2022年7月からあいぎんポジティブ・インパクト・ファイナンスの取り扱いを開始し、2024年9月末時点で7社のお客さまにご利用いただいております。そのうち、3社のお客さまに対しモニタリングを実施いたしました。

ポジティブ・インパクト金融原則では、透明性の確保と情報開示が求められており、モニタリング結果について開示いたします。

当行はこれからも、お客さまの多様化する資金調達ニーズに応え、SDGsの趣旨に賛同するお客さまとともに、持続可能な社会づくりを目指してまいります。

記**モニタリング実施先**

1.

会 社 名	株式会社テルミック
当初評価日	2022年8月10日
モニタリング基準日	2024年1月31日

2.

会 社 名	株式会社石川マテリアル
当初評価日	2022年9月22日
モニタリング基準日	2024年2月29日

3.

会 社 名	スギヤマプラスチック株式会社
当初評価日	2023年7月24日
モニタリング基準日	2024年3月31日

以 上

ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

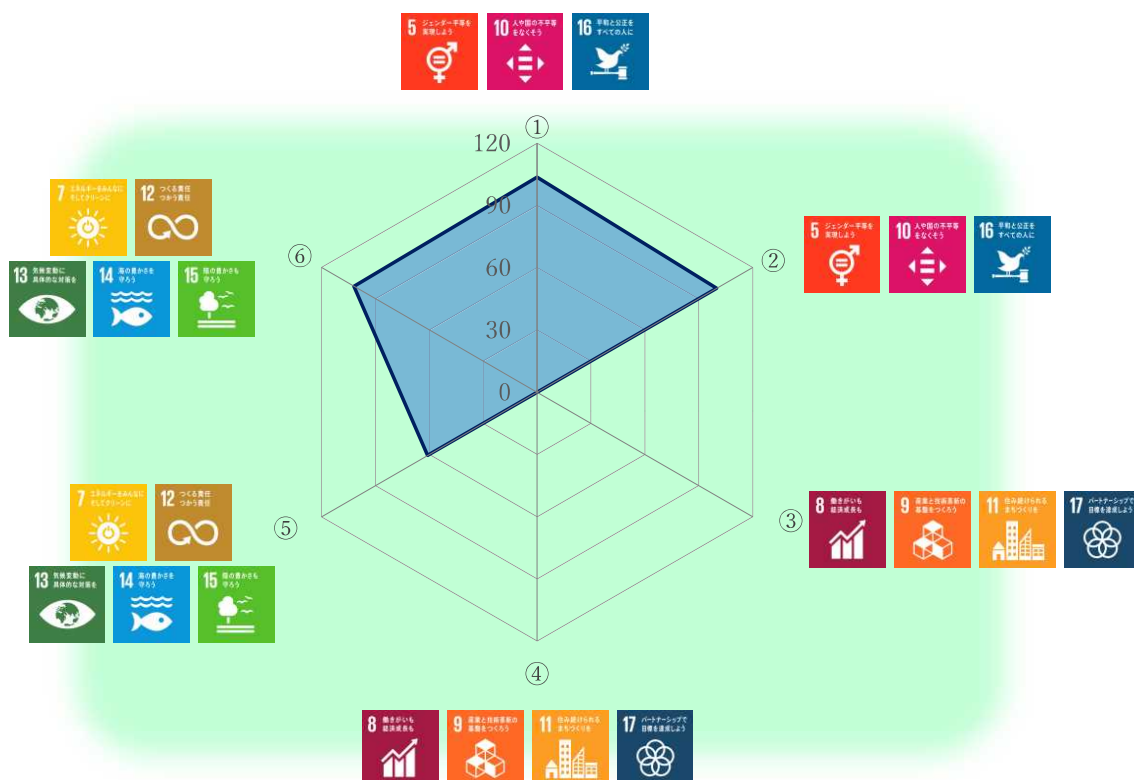
1. モニタリング対象

会社名	株式会社テルミック
モニタリング基準日	2023 年 1 月 31 日
当初評価日	2022 年 8 月 10 日
融資・モニタリング期間	7 年

2. KPI一覧

	KPI
雇用	① 女性雇用比率・女性リーダー活躍比率を 2030 年までに 50%以上
	② 産休利用者数・育児休業利用者数を 100%維持
経済	③ 取引先数の増加
	④ アクティブ仕入先の環境取組割合を 2030 年までに 100%
環境	⑤ CO2 排出量削減に向け 2030 年までに再エネ率 100%の実現
	⑥ 産業廃棄物の分別、リサイクル 80%以上維持

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)女性の積極登用や休暇取得促進によるダイバーシティ推進(ポジティブ増大)

対応方針	①②積極的に地域からの女性採用および女性リーダー職への登用		
KPI・目標	①女性雇用比率・女性リーダー活躍比率を 2030 年までに 50%以上(実績開示) ②産休利用者数・育児休業利用者数を 100%維持(実績開示)		
2022 年度実績	①女性雇用比率 64.9% 女性リーダー活躍比率 30.0% ②産休利用者数 100% 育児休業利用者数 100%	達成率	①129.8% 60.0% ②100.0% 100.0%
コメント	①リーダー層は役員含め 20 名。男女比率は男：女＝14：6 ②産休は 9 名。育休は 12 名（男性 2 名、女性 10 名）。 育休は女性出産後取得。男性も 100%利用。男性 1～2 カ月利用の場合もあり。		

(2)持続可能性に配慮したサプライチェーンの構築(ポジティブ増大、ネガティブ低減)

対応方針	③④サプライチェーンの評価選定と拡充		
KPI・目標	③取引先数の増加（取組活動開示） ④アクティブ仕入先の環境取組割合を 2030 年までに 100%（実績開示）		
2022 年度実績	③取引先数の増加（取組活動開示） 販売先 416 社 仕入先 66 社 ④アクティブ仕入先の定義づけに着手。 アンケートを元に環境取組把握。	達成率	③－ ④－
コメント	③営業戦略チーム（8 名）を立ち上げ。経験豊富な人材を登用し新規取引先獲得。またネット広告を活用し顧客獲得につなげている。 ④仕入れ先にアンケート依頼する計画。アンケートの内容は検討中。 アクティブ仕入先の定義づけを検討する		

(3)環境に配慮した取り組みの推進

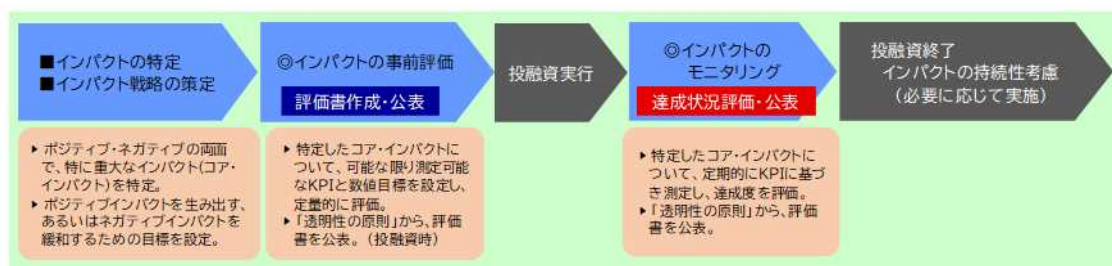
対応方針	⑤⑥カーボンニュートラルにチャレンジ		
KPI・目標	⑤CO ₂ 排出量削減に向け 2030 年までに再エネ率 100%の実現（実績開示） ⑥産業廃棄物の分別、リサイクル 80%以上維持（実績開示）		
2022 年度実績	⑤再エネ率 42% ⑥リサイクル率 84%	達成率	⑤42% ⑥105%
コメント	⑤売上増加もCO ₂ 排出量は 187t→181t へ減少。 今年度は、目標 40%に対し 42%。 CO ₂ フリー電気契約への順次移行（刈谷本社は切り替え済。今後は常滑工場）。 リース契約の営業車を順次EV車へ切り替え ⑥80%維持に対し 84%と達成。		

以 上

【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

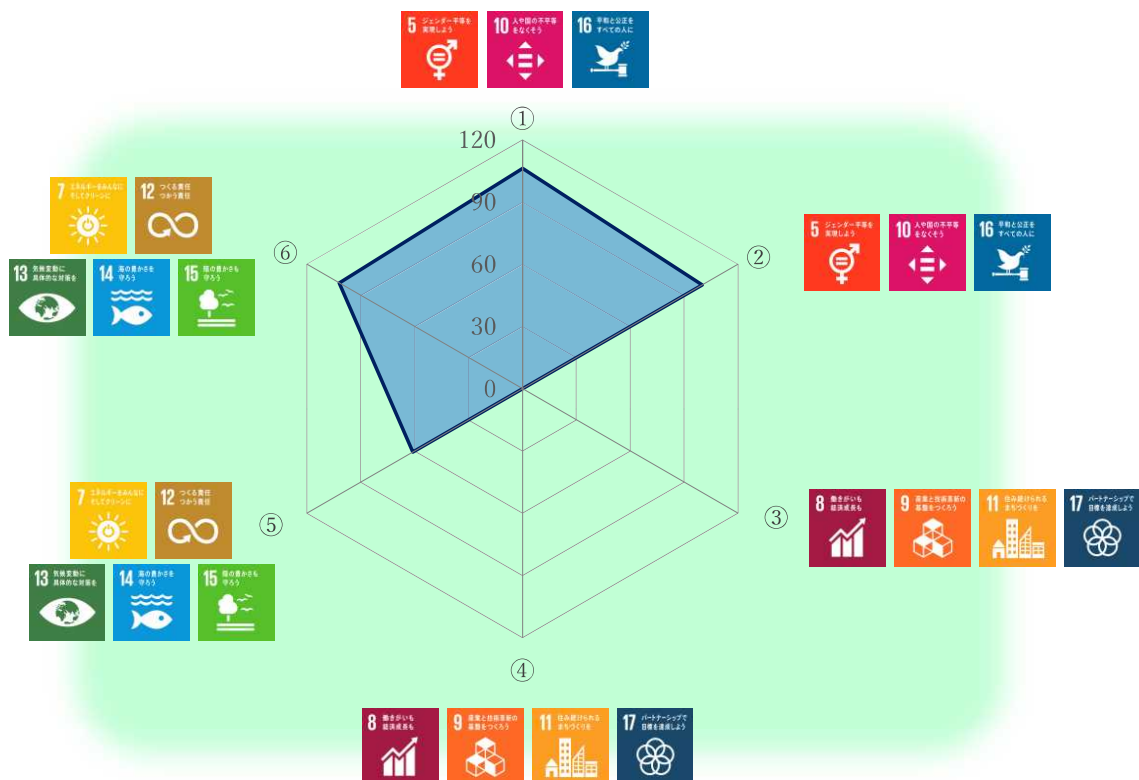
1. モニタリング対象

会社名	株式会社テルミック
モニタリング基準日	2024 年 1 月 31 日
当初評価日	2022 年 8 月 10 日
融資・モニタリング期間	7 年

2. KPI一覧

	KPI
雇用	① 女性雇用比率・女性リーダー活躍比率を 2030 年までに 50%以上
	② 産休利用者数・育児休業利用者数を 100%維持
経済	③ 取引先数の増加
	④ アクティブ仕入先の環境取組割合を 2030 年までに 100%
環境	⑤ CO2 排出量削減に向け 2030 年までに再エネ率 100%の実現
	⑥ 産業廃棄物の分別、リサイクル 80%以上維持

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)女性の積極登用や休暇取得促進によるダイバーシティ推進(ポジティブ増大)

対応方針	①②積極的に地域からの女性採用および女性リーダー職への登用		
KPI・目標	①女性雇用比率・女性リーダー活躍比率を 2030 年までに 50%以上(実績開示) ②産休利用者数・育児休業利用者数を 100%維持(実績開示)		
2023 年度実績	①女性雇用比率 67.3% 女性リーダー活躍比率 36.3% ②産休利用者数 100% 育児休業利用者数 100%	達成率	①134.6% 72.6% ②100.0% 100.0%
コメント	①リーダー層は役員含め 29 名。男女比率は男：女＝17：12 女性雇用比率は前年同率。女性リーダー活躍比率は前年度比 8%上昇。 ②産休は 6 名。育休は 21 名（男性 6 名、女性 15 名）。 男性も 100%利用。男性 1～2 カ月利用の場合もあり。		

(2)持続可能性に配慮したサプライチェーンの構築(ポジティブ増大、ネガティブ低減)

対応方針	③④サプライチェーンの評価選定と拡充		
KPI・目標	③取引先数の増加（取組活動開示） ④アクティブ仕入先の環境取組割合を 2030 年までに 100%（実績開示）		
2023 年度実績	③取引先数の増加（取組活動開示） 販売先 392 社 仕入先 274 社 ④アクティブ仕入先の定義を決定 →年 1 回以上取引があるかどうか	達成率	③－ ④－
コメント	③営業戦略チーム（8 名）を立ち上げ。経験豊富な人材を登用し新規取引先獲得。 サービスサイト・リスティング広告の実績として新規顧客数 242 社（前年度 199 社） 年間売上高見込（LTV換算）約 2.5 億円（前年度約 2.0 億円） ④アクティブ仕入先に年 1 回環境取組みアンケートの実施を検討。 エコアクション 21 や ISO14001 の認証取得等の調査を行う。		

(3)環境に配慮した取り組みの推進

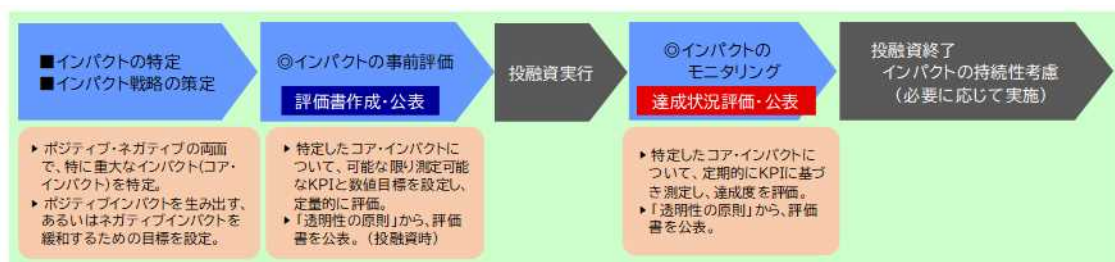
対応方針	⑤⑥カーボンニュートラルにチャレンジ		
KPI・目標	⑤CO ₂ 排出量削減に向け 2030 年までに再エネ率 100%の実現（実績開示） ⑥産業廃棄物の分別、リサイクル 80%以上維持（実績開示）		
2023 年度実績	⑤再エネ率 61% ⑥リサイクル率 82%	達成率	⑤61% ⑥102%
コメント	⑤昨年度より 45%のCO ₂ 排出量削減。 （太陽光パネルの導入、残業時間の短縮、空調温度の基準設定） CO ₂ フリー電気契約への順次移行（刈谷本社は切替済。2030 年までに全拠点導入予定）。 ⑥80%維持に対し 82%と達成。		

以 上

【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「K P I」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R & I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（U N E P F I）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（P I F 原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

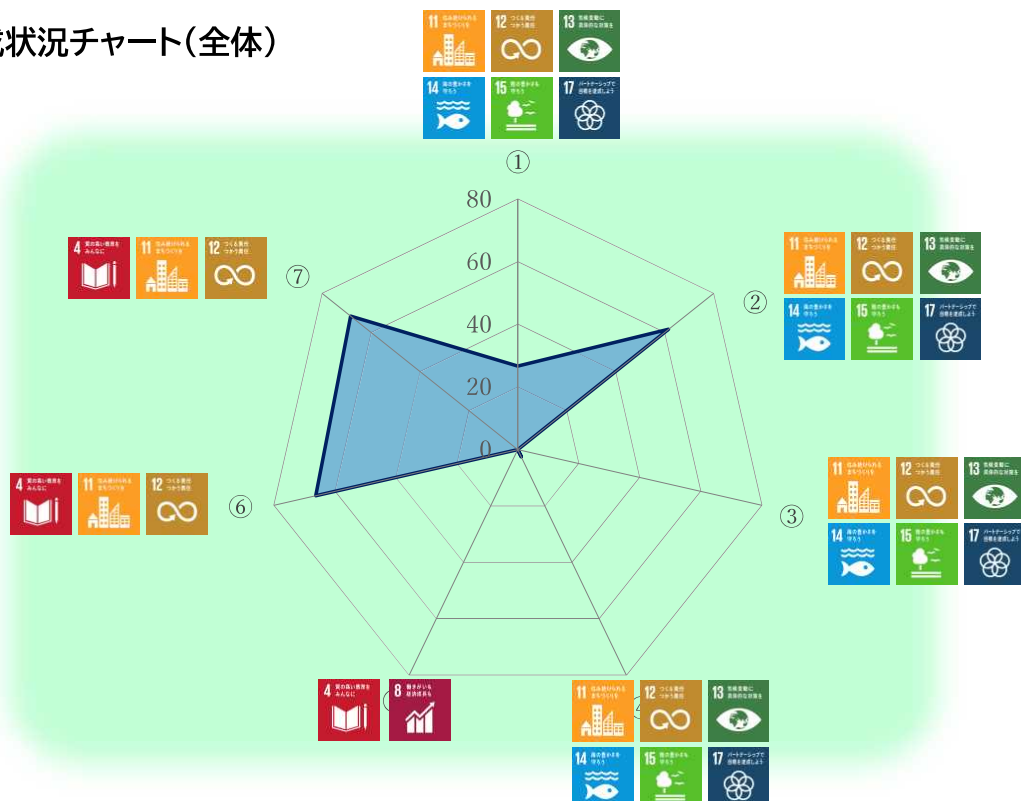
1. モニタリング対象

会社名	株式会社石川マテリアル
モニタリング基準日	2023 年 2 月 28 日
当初評価日	2022 年 9 月 22 日
融資・モニタリング期間	8 年 4 か月

2. KPI一覧

	KPI
環境 経済	① 古紙リサイクルの取扱量 6 %アップの達成
	② コシココ！設置数 1 2 0 か所の達成
	③ 金属スクラップのリサイクル取扱量 8 %アップの達成
	④ 機密文書産業廃棄物の取扱量 4 3 %アップの達成
社会	⑤ キャリアマップの拡充 職能要件書から「職務要件書」へのバージョンアップ 研修制度の充実
環境	⑥ 出前授業の実施累計 8 0 件の達成
	⑦ 名古屋市小学校への環境授業、なごや環境大学共有講座の実施累計 1 3 0 件の達成

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)リサイクルの推進における取り組み

対応方針	①古紙リサイクルを推進 ②コシココ！設置 ③金属スクラップのリサイクルを推進 ④機密文書産業廃棄物の適正処理とリサイクルを推進		
KPI・目標	①取扱量 6%アップの達成（2022 年 2 月期比） ②設置数 120 か所の達成（2022 年 2 月期比） ③取扱量 8%アップの達成（2022 年 2 月期比） ④取扱量 43%アップの達成（2022 年 2 月期比）		
2022 年度実績	①+1.6% ②74 か所 ③▲6.3% ④+1.1%	達成率	①26.6% ②61.6% ③- ④2.5%
コメント	①コシココ！の設置増加により、ペーパーレスで発注量が減少するなかで増加につながった。数年で達成する見込み。 ②地域での認知が必要であり、数年かけて向上させる。 1 か所の採算性よりも規模拡大による認知を優先している。 ③自動車部品メーカー向けへのスクラップが落ち込んだ。 コロナ禍からの回復を見込んだが、工場以外の回収をしたもののプラスに転換しなかった。 ④2023 年 10 月新工場の稼働→目標達成のキャパはある。 今年度は営業努力 県内シェアの 10%を取り扱う→25%へ増やす 営業エリアを港に加え、刈谷へ拡大（三河地区へのエリア戦略）		

(2)従業員の定着と働きがい向上に向けた取り組み

対応方針	⑤人材育成ビジョンの推進		
KPI・目標	⑤キャリアマップの拡充 職能要件書から「職務要件書」へのバージョンアップ 研修制度の充実		
2022 年度実績	⑤タレントマネジメントシステム「カオナビ」の導入 個人目標の見直し 2022 年 12 月に職務要件書を採用 新たに年間計画として 3 回の監督職研	達成率	⑤-

	修を 2023 年度から実施できるよう企画		
コメント	⑤「カオナビ」は育成面に関して自身で目標を定量的に設定 まずはしくみを導入、効果は次年度から それぞれの職務を明確化するとともに、管理職から監督職へ権限移譲 することで人材育成を強化		

(3)環境に関する教育の促進

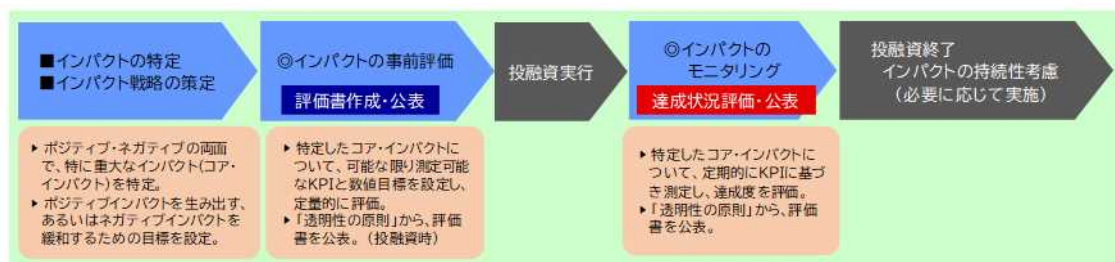
対応方針	⑥出前授業の実施 ⑦名古屋市小学校への環境授業、なごや環境大学共育講座の実施		
KPI・目標	⑥実施累計 80 件の達成 ⑦実施累計 130 件の達成		
2022 年度実績	⑥実施累計 53 件 ⑦実施累計 89 件	達成率	⑦66.2% ⑧68.4%
コメント	⑥業界内の資格である古紙リサイクルアドバイザー2 名を小学校へ派遣 し座学や紙すき等について教育 社会貢献とともに、社員が講師になることで人材育成につなげている ⑦名古屋市主催・商工組合を通じて連携 分別の理解→将来の大人→マーケットをつくっている		

以 上

【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

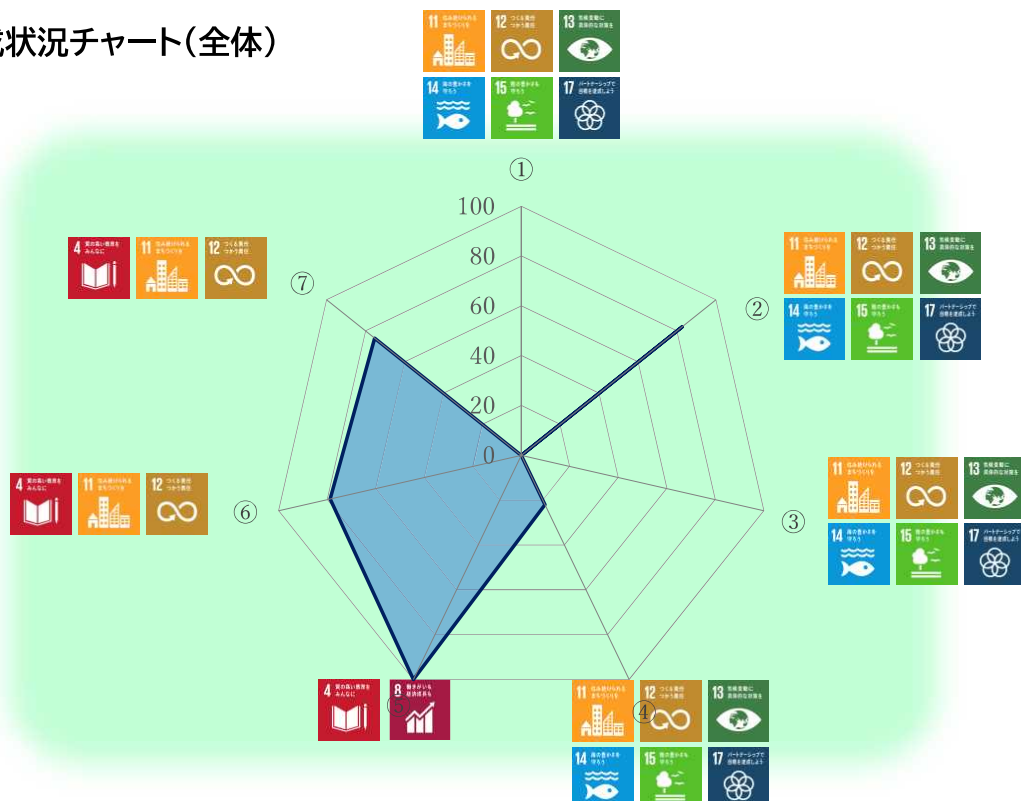
1. モニタリング対象

会社名	株式会社石川マテリアル
モニタリング基準日	2024 年 2 月 29 日
当初評価日	2022 年 9 月 22 日
融資・モニタリング期間	8 年 4 か月

2. KPI一覧

	KPI
環境 経済	① 古紙リサイクルの取扱量 6 %アップの達成
	② コシココ！設置数 1 2 0 か所の達成
	③ 金属スクラップのリサイクル取扱量 8 %アップの達成
	④ 機密文書産業廃棄物の取扱量 4 3 %アップの達成
社会	⑤ キャリアマップの拡充 職能要件書から「職務要件書」へのバージョンアップ 研修制度の充実
環境	⑥ 出前授業の実施累計 8 0 件の達成
	⑦ 名古屋市小学校への環境授業、なごや環境大学共有講座の実施累計 1 3 0 件の達成

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)リサイクルの推進における取り組み

対応方針	①古紙リサイクルを推進 ②コシココ！設置 ③金属スクラップのリサイクルを推進 ④機密文書産業廃棄物の適正処理とリサイクルを推進		
KPI・目標	①取扱量 6%アップの達成（2022 年 2 月期比） ②設置数 120 か所の達成（2022 年 2 月期比） ③取扱量 8%アップの達成（2022 年 2 月期比） ④取扱量 43%アップの達成（2022 年 2 月期比）		
2023 年度実績	①▲3.7% ②99 か所 ③▲10.3% ④+9.5%	達成率	①－ ②82.5% ③－ ④22.0%
コメント	①コシココ！の設置増加も、国内のペーパーレスが進み、取扱量はマイナス。 2030 年での達成が難しく K P I の変更も検討する。 ②年間 6～7 か所設置の計画に対し、25 か所設置と目標以上の設置。 近年は地主の意識も変化し、以前はごみの集積場のようなイメージから、設置によりリサイクルに貢献しているとの考えになってきている。 設置 2 年目に認知度が高まり取扱量が伸びる傾向。 ③国内景気回復の鈍化、自動車メーカーの不正・トラブルにより取り扱いが減少。 この分野は業者間競争も激しく奪い合いになっている。 ④2023 年 10 月刈谷工場の稼働→目標達成のキャパはある。 取扱業者少なく処理精度は県内随一。		

(2)従業員の定着と働きがい向上に向けた取り組み

対応方針	⑤人材育成ビジョンの推進		
KPI・目標	⑤キャリアマップの拡充 職能要件書から「職務要件書」へのバージョンアップ 研修制度の充実		
2023 年度実績	⑤「カオナビ」の情報拡充。 2022 年 12 月に職務要件書を柱とし、改善を図る。	達成率	⑤100%

	新たに年間計画として 3 回の監督職研修を実施。		
コメント	⑤個人目標の管理体制を見直し、毎月の振り返り、フィードバックを適切な時期に実行できるよう改善を行った。 監督職層は中堅社員で 50 名。 研修について、充実化を図っていく。		

(3)環境に関する教育の促進

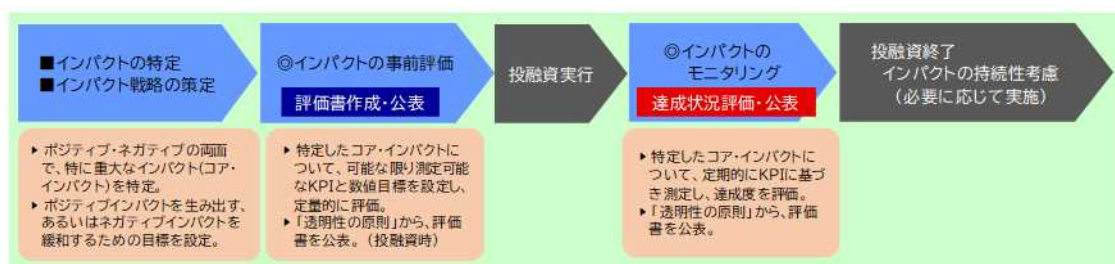
対応方針	⑥出前授業の実施 ⑦名古屋市小学校への環境授業、なごや環境大学共育講座の実施		
KPI・目標	⑥実施累計 80 件の達成 ⑦実施累計 130 件の達成		
2023 年度実績	⑥実施累計 63 件 ⑦実施累計 98 件	達成率	⑦78.7% ⑧75.3%
コメント	⑥古紙リサイクルについての授業。 社会貢献とともに、社員が講師になることで人材育成につなげている。 新入社員が授業をサポート。 ⑦名古屋市主催・商工組合を通じて連携 分別の理解→将来の大人→マーケットをつくっている		

以 上

【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「KPI」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定したポジティブ・インパクト金融原則（PIF原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。



ポジティブ・インパクト・ファイナンス モニタリングレポート

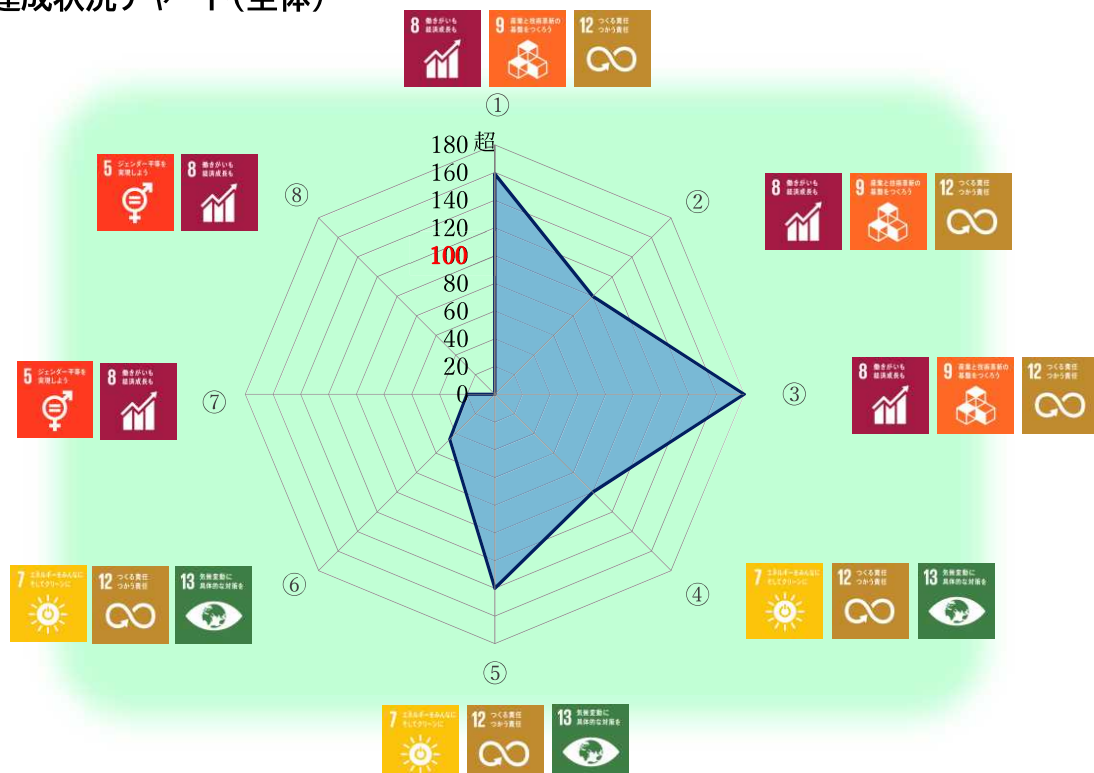
1. モニタリング対象

会社名	スギヤマプラスチック株式会社
モニタリング基準日	2024 年 3 月 31 日
当初評価日	2023 年 7 月 24 日
融資・モニタリング期間	7 年間

2. KPI一覧

	KPI
経済	① 積極的な設備投資により省力化を行い、売上を毎期 5%ずつ増加させる
	② ISO9001 の継続認定取得
	③ 社内の製品不良率を 2030 年度までに 10%まで低減させる
環境	④ ISO14001 の継続認定取得
	⑤ 廃プラスチック量の削減（2030 年度までに 2022 年度比 10%削減）
	⑥ 売上高当たりのCO ₂ 排出量の削減
社会	⑦ 外国人技術者を 2030 年度までに 5 名採用する
	⑧ オペレーターの女性従業員比率を 2030 年度までに 55%以上にする

3. 達成状況チャート(全体)



4. KPIモニタリング結果(詳細)

(1)省力化・効率化による成長促進

対応方針	①省力化による売上増加 ②品質管理の維持・向上 ③製品不良率の低減		
KPI・目標	①積極的な設備投資により省力化を行い、売上を每期 5%ずつ増加させる。 ②ISO9001 の継続認定取得 ③社内の製品不良率を 2030 年度までに 10%まで低減させる。		
2023 年度実績	①7.96%増加 ②継続認定中 ③0.44%	達成率	①159% ②100% ③2,272%
コメント	①当地区大手自動車部品メーカーからの新規受注獲得により売上増加につながる。 ②認定継続中 ③ロボット化、カメラ検査の導入が進み、ヒューマンエラーが減少。		

(2)環境に配慮した取り組みの推進

対応方針	④⑤環境負荷の低減 ⑥カーボンニュートラルへの取り組み		
KPI・目標	④ISO14001 の継続認定取得 ⑤廃プラスチック量の削減 (2030 年度までに 2022 年度比 10%削減) ⑥売上高当たりのCO ₂ 排出量の削減 (2030 年度までに 2022 年度比 10%削減)		
2023 年度実績	④継続認定中 ⑤40,667kg (2022 年度) ➡ 34,980kg (2023 年度) ⑥0.065kg-CO ₂ /年・円 (2022 年度) ➡ 0.062kg-CO ₂ /年・円 (2023 年度)	達成率	④100% ⑤140% ⑥46%
コメント	④継続認定中 ⑤⑥ホットランナー化が進み、原料カットや粉碎作業の削減が改善につながった。		

(3)ダイバーシティ&インクルージョンの推進

対応方針	⑦⑧平等で働きやすい労働環境		
KPI・目標	⑦外国人技術者を 2030 年度までに 5 名採用する。 ⑧オペレーターの女性従業員比率を 2030 年度までに 55%以上に する。(2022 年度：6%)		
2023 年度実績	⑦1 名 ⑧0 名	達成率	⑦20% ⑧0%
コメント	⑦外国人採用は現状 1 名の採用に留まっており、方策を検討中。 ⑧オペレーターは 15 名在籍。昨年度は女性 1 名在籍していたが、異 動により別業務を担当。現在の受注状況において、金型のサイズが大 きく女性が扱うのは難しいと判断。新規受注のタイミングで女性オペ レーター増員を計画。		

以 上

【ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

国際的な金融原則の枠組みに沿った融資商品で、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼす影響を包括的に分析・評価（以下、「インパクト評価」）します。インパクト評価により特定されたポジティブな影響の増大とネガティブな影響の低減に向けた取り組みに対して目標（以下、「K P I」）を設定し、モニタリングを実施することで、当該取り組みを継続的に支援いたします。本商品では当行がインパクト評価とモニタリングを実施します（※1）。

（※1）当行のポジティブ・インパクト・ファイナンス実施体系は、株式会社格付投資情報センター（R & I）

より、国連環境計画・金融イニシアティブ（U N E P F I）が制定したポジティブ・インパクト金融原則

（P I F 原則）への適合についてセカンドオピニオンを取得しています。

